

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道稚内市 稚内こまどり病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床未満	自治体職員 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
31,644	4,570	第2種該当	-	否

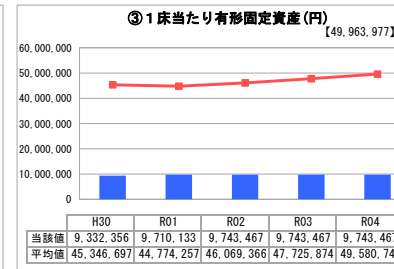
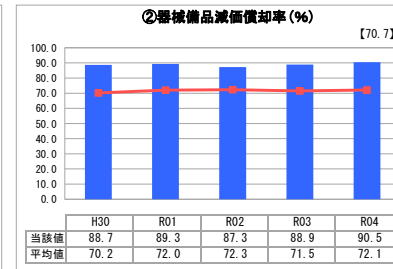
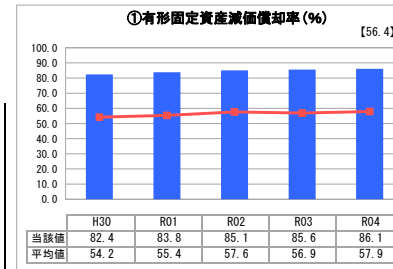
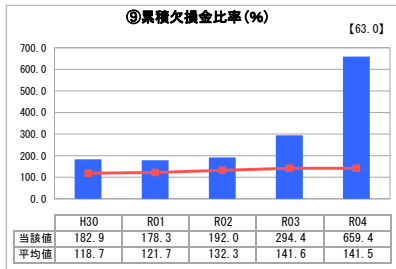
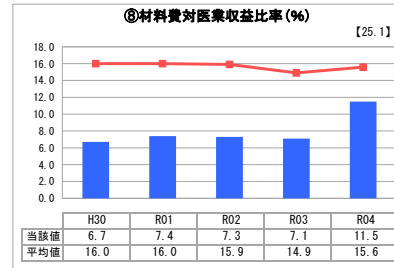
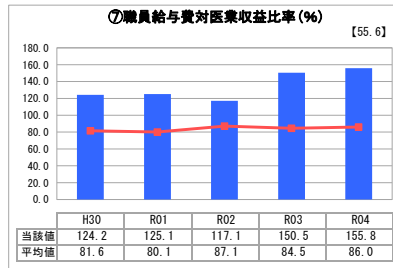
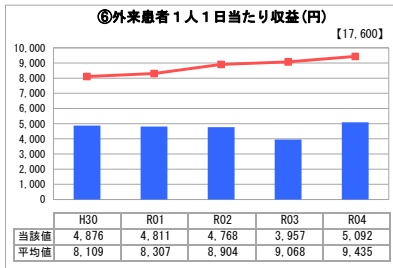
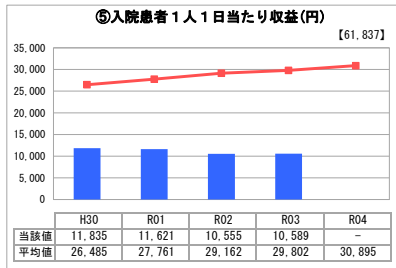
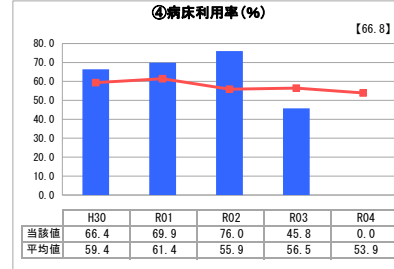
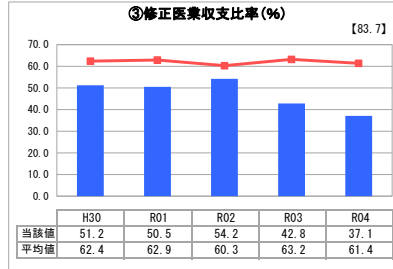
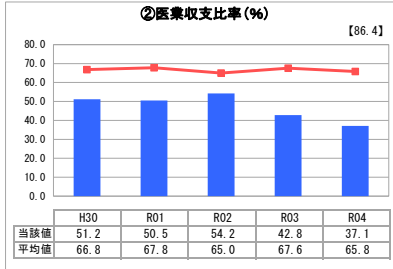
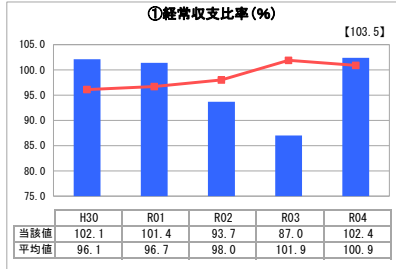
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	45	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	45
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
継続分化・連携強化 (従来の可搬・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

平成15年3月に当時の国立療養所稚内病院の移譲を受け、当該地域において不足していた療養型病院としてスタートしたが、医療従事者の不足により令和4年4月から病床を休床し、慢性期医療を市立稚内病院へ移行した。外来医療においては、当医療圏域で不足しているかかりつけ医としての機能を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

市立稚内病院との連携により外来患者数及び収益増加を目指したが、目標であった外来患者数7,840人、外来収益37,703千円を患者数、収益ともに下回る結果となった。

2. 老朽化の状況について

国立病院再編成計画に基づく廃止に伴う譲渡を受け、療養型病院として療養病棟の基準を満たすための改修及び付帯設備等について改修を行ったが、国立時代の全面改修も昭和53年頃で、こまどり病院も開設して19年経過し、毎年度、部分的な修繕で対応しているが、附帯設備等は全面的な改修を必要とする。

全体総括

施設の老朽化に伴う改修経費や人員不足の状況から継続していく事は難しいため、今後については近く方針決定する。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。